

## RSウイルス感染症の流行について（注意喚起）

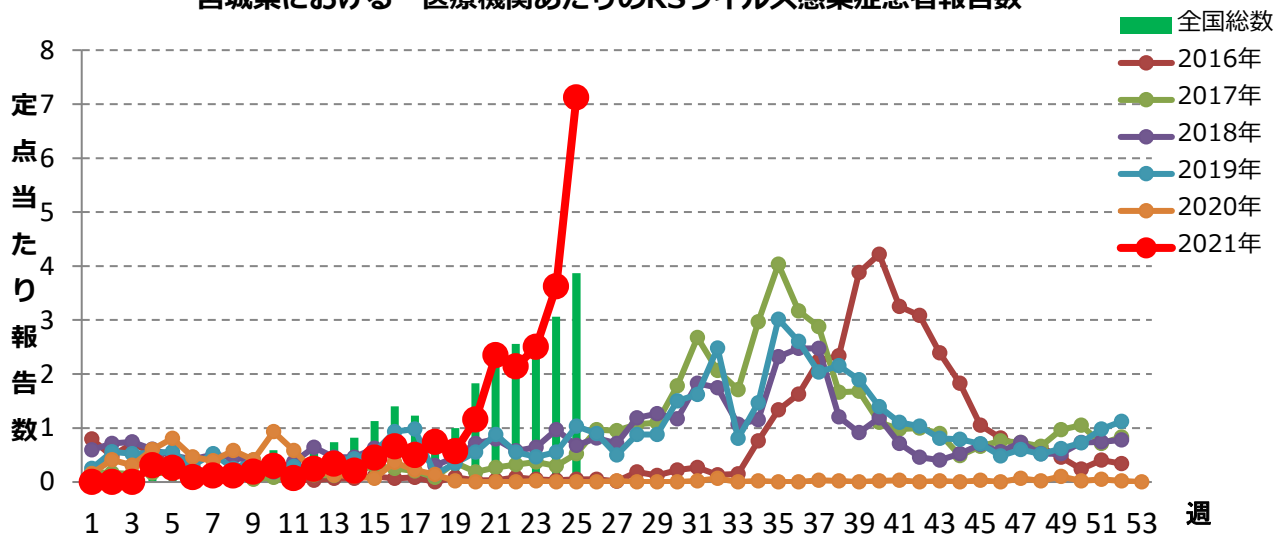
県内でRSウイルス感染症患者が、過去5年間で最も早い時期に増加してきています。

RSウイルス感染症は、呼吸器系の感染症で、多くは軽症で済みますが、重症化することもあり、注意が必要です。

今後、更に増加する可能性がありますので、県民の皆様におかれましては、引き続き咳エチケットや石けんによる手洗いなどの感染予防の徹底をお願いします。

- 第25週（令和3年6月21日から6月27日）1定点医療機関当たり患者報告数：7.12人  
過去5年間の第25週における平均0.57人と比較して、約12.5倍でした。

宮城県における一医療機関あたりのRSウイルス感染症患者報告数



### ■ RSウイルス感染症とは

#### ➤ 症状

- ・ 潜伏期間は4～6日です。主な症状は発熱、鼻水、咳等で、通常は1週間くらいで治ります。どの年齢でも感染は起こりますが、0歳児・1歳児に多く、特に生後数週間から数か月で初めて感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。
- ・ 保育施設や老人福祉施設では感染拡大の発端となる可能性があるため、軽い症状であっても、他の人に感染させないように注意が必要です。

#### ➤ 感染経路

- ・ 感染者の鼻汁・唾液に含まれるウイルスが咳やくしゃみによって感染する飛沫感染や、ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる接触感染があります。

#### ➤ 予防方法

- ・ 0歳児と1歳児に接する人に咳などの呼吸器症状がある場合、飛沫感染対策としてマスクを着用して0歳児、1歳児に接することが大切です。接触感染対策としては、子どもたちが日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはこまめにアルコールや塩素系の消毒剤等で消毒し、流水・石鹸による手洗いか又はアルコール製剤による手指衛生の励行を行ってください。

#### ➤ 治療方法

- ・ 特別な治療法はなく、基本的には対症療法（症状を和らげる治療）を行います。

### ■ 参考となるホームページ

厚生労働省「RSウイルス感染症Q&A」[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/rs\\_ga.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/rs_ga.html)

国立感染症研究所「RSウイルス感染症」<http://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/317-rs-intro.html>

〃 IDWR 2021年第23号<注目すべき感染症>

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/2487-idsc/idwr-topic/10470-idwrc-2123c.html>

宮城県結核・感染症情報センター<https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>